

「不登校を考えるアンケート（保護者向け）」結果報告概要

2021年7月30日

私たちは、2020年3月から、全国の不登校で悩む保護者の方々と繋がり支え合いながら安心できる場所や情報を届けることを目的として、「先輩ママたちが運営する不登校の道案内サイト未来地図」を運営しています。

現在、不登校については、文部科学省が毎年実施している「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」*¹（以下、諸課題調査）の中で調査が行われています。しかし、アンケートに回答しているのは学校の先生方のため、私たちは家庭での困りごとなどを共有することを目的として、この調査を実施しました。

<方法>

実施主体：先輩ママたちが運営する不登校の道案内サイト「未来地図」

実施時期：2021年2月27日～3月26日

対象：現在小学生以上の、不登校または元不登校の子どもの保護者。

実施方法：インターネット調査。

回答数：1,064件（子ども1人につき1件の回答）

<結果>

1,064件もの回答を得られたことにより、

- ・不登校の経験のある子どもの保護者を対象として実施すること
- ・諸課題調査の設問のうちの「不登校の要因」と共通の質問を含めること
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を含む生活の状況についての調査を行うこと

これらの試みに基づいたアンケート調査は、この規模では初めての実施となりました。

<設問の概要>

子どもの状況	保護者が困っていること	支援のニーズ
<ul style="list-style-type: none"> ・現在不登校か、元不登校か ・子どもの年齢・経験した学校 ・学校に行っていない時期 ・学校に行っていない時期は、どこで過ごしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が困っていること ・新型コロナウイルス感染症が子どもに与えた影響 ・兄弟姉妹がいることや、いないことで困っていること 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に対して、保護者が望むこと ・誰に相談しているか ・保護者が理想とする学びの場のイメージ ・支援や配慮で嬉しかったことや改善されたこと ・子どもが元気になったきっかけ
「不登校の要因」について 保護者が当てはまると思うもの		不登校全般への意見

子どもの状況

現在不登校の子どもの割合はおよそ7:3となり、現在の学年では、小学生、中学生、中学校卒業後の割合は、およそ3:4:3の割合となりました。不登校を経験した学年*²では中学1年生が最も多く、不登校が始まったと思われる時期も、同じく中学1年生が最も多い

*¹ 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」2021年6月30日参照

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302902.htm

*² 複数回答

結果となりました。学校に行っていない時期に過ごしている場所は、自宅97.7%、学校の別室15.1%、適応指導教室（教育支援センター）12.2%の順となりました。

「不登校の要因」…「子ども自身も、学校に行けない理由が分からない」

回答者の多い順に、子ども自身も学校へ行けない理由が分からない*37.5%、教職員との関係をめぐる問題37.4%、いじめを除く友人関係をめぐる問題30.4%、体調不良*29.1%となりました。

*は、このアンケート独自に、保護者の視点で設けた選択肢。無印は諸課題調査と共通の選択肢。

保護者が困っていること

回答の多い順に、子どもの体調不良や精神的苦痛が約6割、学校とのやりとり、自身の体調不良や精神的不調、相談先が見つけにくい、それぞれ約5割となりました。新型コロナウイルス感染症が子どもに与えた影響では、不安感が強くなった25.3%、期待していた学校生活を送れなかった19.3%、生活のリズムが乱れた16.7%の順になりました。

支援のニーズ

回答の多い順に、繊細な子や特性のある子への理解と配慮で65.1%。次いで子どもの意思を尊重した対応60.9%、ダメージを受けている子への理解と配慮53.7%となりました。相談先では、スクールカウンセラー、学校の先生、病院やクリニックなどの医療機関の順となりました。

自由記述回答のまとめ

自由記述回答については、詳細な件数の分類や分析には至っていないものの、回答の傾向を分類し、テーマに沿ってまとめを行いましたので、文末の関係資料をご参照ください。

<まとめ>

2017年には、教育機会確保法*³の制定により、休養の必要性や学校以外の場での学びの重要性が規定されるなど、不登校を取り巻く環境は年々変化しています。しかし、現状では、情報や支援が十分には届いておらず、困難な状況にある子どもや保護者が多くいるということ、改めて知ることができました。

このアンケートの結果を、保護者、学校の先生や、支援者、行政、市民の声を代表する立場の方々にもお読みいただき、それぞれの場で活かしていただくことを目指しています。みなさまのご感想や、お気づきのことを添えて、周りの方々に広め、お伝えいただければ幸いです。

【関係資料】

① 「不登校を考えるアンケート(保護者向け)」結果報告

https://miraitizu.com/wp-content/uploads/survey_2021.pdf

② [別添]「不登校を考えるアンケート(保護者向け)」集計結果

https://miraitizu.com/wp-content/uploads/survey_2021_att.pdf

※このアンケートに寄せられた、全ての自由記述回答を掲載しています。

③ 「不登校を考えるアンケート(保護者向け)」結果報告概要(この資料)

<https://miraitizu.com/wp-content/uploads/digest.pdf>

³ 文部科学省「教育機会確保法:義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(平成28年法律第105号)」2021年6月30日参照

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1380960.htm